

# 農 大

令和6（2024）年度版

令和6年9月30日発行  
愛知県立農業大学校

# だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2  
Tel: 0564-51-1601 Fax: 0564-51-4831  
E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp  
ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



## 果樹専攻



## CONTENTS

- 1 専攻紹介 果樹
- 2 あなたの就農を応援します～農起業支援ステーション
- 3 研修紹介 農業機械研修
- 4 クラブ紹介(バレーボール部、バドミントン部)
- 5 専攻トピックス
- 6 トピックス  
始業式、防災訓練、農家派遣実習、農業後継者育成奨学金を授与、経営管理研修「パソコン農業簿記入門」、あいち農業経営塾、オープンキャンパス
- 7 お知らせ  
令和7年度入学者選抜試験

愛知県立農業大学校  
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)





## 専攻紹介

# 果樹専攻

果樹専攻は、「おいしい果物」につられた(?) 28人(2年生15人、1年生13人)の学生が、県内外から集まっています。

農大の最南端、黄色い鉄門とうっそうとした防風林の奥に、4つの温室と7枚のほ場をもつ2.5haの果樹園があります。ブドウ、ナシ、モモ、カキ、ミカン、イチジク、ブルーベリー、アンズ、ウメなど2年生を中心に品目ごとに6つの班に分かれて栽培、収穫・出荷、販売実習を行っています。

販売は、市場流通や毎週水曜日の直売、西三河総合庁舎での販売の他、地元の和菓子屋さんと連携してフルーツ大福用の果実の提供も行っています。また、今月から学校近くのカフェと協力して本校の果実を使用したメニューの開発も行っています。

果樹のオフシーズンである冬場は、収穫しておいた果実を使ったジャム作りにも取り組んでおり、農大祭などで販売しており大変好評です。

## ナシ



40aのナシ園で10種類以上の品種を栽培しています。食べ比べて自分の「推し品種」を見つけてね!

(栽培品種)  
愛甘水、幸水、豊水、  
あきづき、歎月など

キズを付けないよう丁寧に



## ブドウ

加温ハウス、無加温ハウス、露地の3つの作型で栽培しています。シャインマスカットの面積を増やそうと奮闘中です。

(栽培品種)  
巨峰、シャインマスカット、  
シナノスマイルなど



1房ずつ収穫できるか確認中



## ハウスミカン

今年もおいしいミカンを作ることができました。今は来年に向けて圃場整備中です。



ふざけてしまう時もあるけど作業はしっかりこなしてくれます。

(栽培品種)  
宮川早生



## イチジク

完熟イチジクの販売が美味しいと好評。  
三人で協力して作業しています。

(栽培品種)  
榊井ドーフィン、  
パナーネ



1果ずつ硬さを  
みて収穫します



## モモ



今年は木の調子が悪くあまり振るわなかったため改植作業中

(栽培品種)  
ちよひめ、日川白鳳、  
あかつき など

改植のために重機  
練習中です



## ブルーベリー

今年は木を作るのに集中。  
来年からは収穫がたくさんできるようにしています。

(栽培品種)  
ラビットアイ系、  
サザンハイブッシュ系  
各種



変化を見落とさないよう観察



お品書きボードは  
毎回お手製♪



袋掛け作業



ジベレリン処理



直売は毎週大盛況♪



コラボ商品開発



ジャム作り



## 特 集

あなたの就農を応援します  
農起業支援ステーション

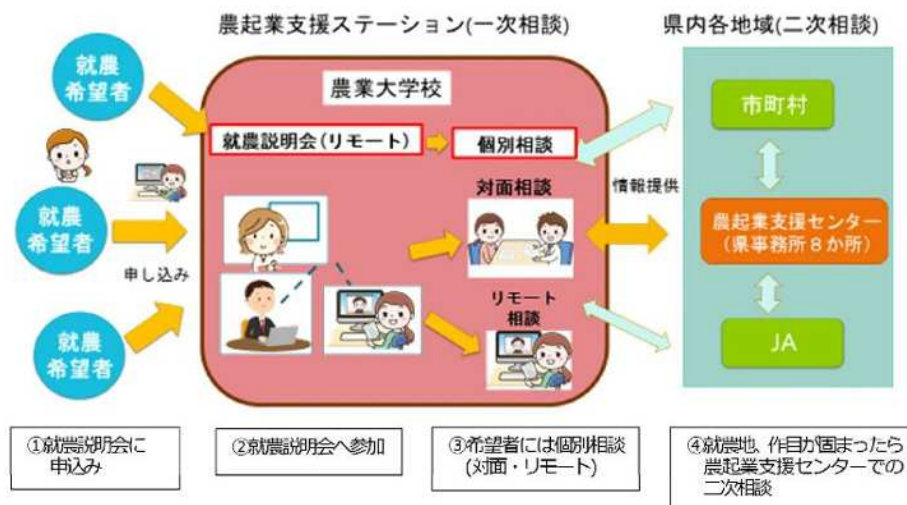
R6.5.10 農業見学の様子

愛知県は、県内全域の就農相談窓口として「愛知県農起業支援ステーション」を農業大学校内に設置しています。農業大学校では、農業後継者、新たに就農を希望する学生・研修生の育成に加え、就農者確保に向けた相談機能も果たすことにより、愛知県農業の担い手の確保と育成を総合的に支援しています。今回は、愛知県農起業支援ステーション（以下、ステーション）の活動を紹介します。

## 就農相談の流れ ～就農説明会後に個別相談～

## 1 就農説明会

「農業を始めたい」、「就農について教えてほしい」などの希望者には、まずステーションが開催する就農説明会（以下、説明会）に参加してもらいます。説明会では就農するまでの基本的な流れと、品目の決定や農地の確保など就農に必要な要件や支援制度などを説明します。「農業をやりたい」、「農業に関心がある」という人でも、その多くは就農に関する知識が不足しているのが現状です。そこで、就農を考える上で、最低限必要な知識を説明会で得られるようにしています。



## 就農相談の流れ

説明会は1時間程度で月に2回開催しています。基本的にリモートで実施していますが、説明会に加えて、「農業見学」、「J A等産地の研修受入体制の紹介」、「先輩農家の講話」を実施する回もあり、この場合には対面でも参加することができます。「産地の研修受入体制の紹介」では、農協職員等から研修制度や受入体制について情報を得ることができます。「先輩農家の講



R6.8.5 先輩農家の講話

話」では、レンコンやイチゴ、有機農業等の新規参入者から、就農に向けた取組や心構え、営農が軌道にのるまでの苦勞など、実体験を直接聞くことができます。「先輩農家の講話」は参加者からとても好評であることから、今年度は開催回数を増やし、第15回、第17回の就農説明会でも計画していますので、是非参考にしてください。

回	月 日	時 間	申込み締切日
第13回	10月 4日（金）	13:30-15:30	10月 1日（火）
第14回	10月21日（月）	18:00-19:00	10月16日（水）
第15回	11月 5日（火）	13:30-15:30	10月30日（水）
第16回	11月21日（木）	18:00-19:00	11月18日（月）
第17回	12月 3日（火）	13:30-15:30	11月28日（木）
第18回	12月20日（金）	18:00-19:00	12月17日（火）
第19回	1月14日（火）	13:30-14:30	1月 8日（水）
第20回	1月27日（月）	18:00-19:00	1月22日（水）
第21回	2月 7日（金）	13:30-14:30	2月 4日（火）
第22回	2月20日（木）	18:00-19:00	2月17日（月）
第23回	3月 5日（水）	13:30-15:30	3月 2日（日）
第24回	3月14日（金）	18:00-19:00	3月11日（火）

### 今後の就農説明会の予定

## 2 申込方法

説明会の申込はインターネットで受け付けています。申込みフォームへは、農大の Web ページの検索から、あるいは市町村や農協、農業改良普及課で入手できる就農説明会の案内チラシの二次元バーコードから入れます。

申し込みが完了すると自動返信メールが届きます。リモートで参加を希望された方には、開催2日前に Cisco Webex Meeting の Web 会議の URL をステーションからメールします。

## 3 個別相談

説明会の後、個別の就農相談の予約を受け付けます。相談は、リモートでも対面でも対応しています。個別相談は事前に就農相談カルテを作成して提出していただいた上で、現況や本人の希望を聞きながら進めます。就農するためにやるべきことは人それぞれなので、ステーションでは相談者の状況に合わせて助言や情報提供をしています。

品目や就農地が決まった段階で、就農地を所管する農起業支援センター（県農林水産事務所農業改良普及課）に相談を引き継ぎます。引き継ぎ後も、農起業支援センターや市町村、農協とその後の進展を情報共有し、必要に応じてステーションからアドバイスをし、就農を支援します。

### ステーションでの就農相談状況

令和6年4月から8月末までの相談者は120人でした。30代、40代が約7割を占めます。農業経験がほとんど無い人が7割以上、農地のない人も7割でした。技術習得と農地の確保のためには研修が不可欠ですが、農業をあまり経験したことがない方は、研修を開始する前に、農業に向いているかを短期の農業体験で確認することをお勧めします。

### ステーションの新たな取り組み

現在、就農希望者がインターネット上に作った農園で農業体験ができるデジタルコンテンツを開発中です。11月頃から、実証実験を行いますので、農大 Web ページの更新をお楽しみに！



## 研修紹介

## 農業機械研修

夏期休業期間中に各種の農業機械研修を開催し、本校学生や農業者が受講しました。「大特免許研修」と「けん引免許研修」は、それぞれトラクター単体及びトラクターでトレーラーをけん引して公道走行できる運転免許を取得するための研修です。酷暑の中、本校の運転コースで十分に走行練習した後に、愛知県警運転免許試験場（名古屋市平針）の試験官による技能試験を受験し、77人が見事に合格しました。



大特免許研修



けん引免許研修

「刈払機研修」と「小型車両系建設機械研修」、「フォークリフト研修」は労働安全衛生法に基づいた安全衛生教育等の修了証を取得する研修です。機械の構造や安全操作の方法について学科及び実技の講習を受け、64名全員が修了証を受領しました。



刈払機研修



小型車両系建設機械研修



フォークリフト研修

企画研修部では、今後も農業機械に関する資格を取得するための研修や、技能向上のための研修を開催していきます。「大特免許研修」は10月・1月・2月に、「けん引免許研修」は12月に、「トラクター作業研修」は11月と3月に、「フォークリフト研修」は3月に、「小型車両系建設機械研修」は11月に行う予定です。詳しくは本校 web ページをご覧ください。

## 学生クラブ紹介

### バレーボール部



部員数 40名  
(男子27名 女子13名)  
活動日時 木曜日 18:00~  
活動場所 体育館

バレーがだいすきな仲間たちが集まって、毎週木曜日に楽しくバレーボールをしています！体育館からはボールの音だけでなく笑い声も聞こえてくる、1週間の中でも幸せな時間のひとつです。練習の一番最後には、真剣勝負で1年生対2年生を行います！！また、東海近畿スポーツ大会では連覇しています！農大に入学したら毎週木曜日を楽しみになるような農大生活を送りませんか？あなたもバレー部に入部して、連覇を目指して一緒に楽しくバレーをしましょう！！

### バドミントン部

部員数 16名  
(男子10名 女子6名)  
活動日時 火曜日 18:30~  
活動場所 体育館



こんにちは、バドミントン部です。毎週火曜日に体育館で活動しています。基礎打ちをしたりゲーム練習をしています。毎年行われる東海近畿スポーツ大会に向けてみんなで楽しく活動しています。

今年の東海近畿大会では、団体戦で優勝と個人でもたくさんの方が良い成績を取ることができました。未経験の人でも楽しく活動ができ、一年たてば意外と良い成績が残せますよ。



# 専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

## ○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切花	作物	果樹	露地野菜	施設野菜	酪農	養豚・養鶏	計
1年	6( 0)	8( 2)	6( 1)	13( 3)	13( 4)	15( 2)	11( 5)	6( 6)	78( 23)
2年	6( 2)	5( 1)	9( 2)	15( 5)	14( 7)	14( 3)	15( 6)	10( 3)	88( 29)
計	12( 2)	13( 3)	15( 3)	28( 8)	27( 11)	29( 5)	26( 11)	16( 9)	166( 52)



鉢花・緑花木

いつまでも暑すぎる・・・  
こんなときは暑さに強い植物から元気をもらおう！



鉢物・緑花木専攻で栽培している植物たちの中には、サボテンなどのように暑さに強い植物や、高温多湿の室内が大好きな観葉植物などがあります。毎週水曜日の直売では、お客様の毎日の猛暑による疲れを少しでも癒してもらおうと、学生たちがこれらの植物を販売しています。直売に来ていただくだけでも汗だくなるような気温ですが、ぜひ鉢物・緑花木専攻の植物たちを見に来て、買っていただいて、植物からパワーを分けてもらってください！



切花

## ギリ間に合った!お彼岸向けのキク開花

お盆、年末に並んでキクの需要が高まるのが、お彼岸（秋分の日）です。この日のために栽培計画を調整していたのですが、またしても立ち遅れたのが猛暑でした。

キクは、高温が続くと開花が遅れることが知られています。農大のキクも連日の猛暑の影響を受け、開花予定日を過ぎても大半がまだ蕾の状態。このままだとお彼岸に間に合わない…と落ち着かない日々を過ごしていました。しかし、5品種のうち4品種の開花が何とか間に合い、9月18日の実習販売では多くのお客さんに買っていただくことができました。

実は、7月号で紹介した小ギクも、発色は良かったものの、開花は予定より2週間以上遅れています。高温対策が大事だなあと思う今日この頃です。







露地野菜

## 冬野菜の定植、播種、管理作業が続く

9月は冬野菜の定植最盛期です。ある日は畑を起こし、畝を立て、キャベツやハクサイ、ニンジン等の定植や播種を行い、次の日は8月に定植した畑の防除や中耕を行うなど、毎日忙しく作業をしています。

学生は朝から夕方まで作業を行っていますが、疲れを簡単に見せません。とてもパワフルで頼りになります。

下旬からはミニハクサイの収穫開始予定で、露地野菜専攻の勝負の時期が始まります。学生が頑張った野菜をぜひ農大まで買いに来てください。味は美味しいですし、学生のやる気が詰まっていますのでおすすめです。



施設野菜

## 接ぎ木成功してくれー！

ついに、1年生のプロジェクトを開始しました。7月末から9月にかけて、は種や接ぎ木、鉢上げなどの育苗管理を行いました。今作はトマト、ナス、キュウリの接ぎ木を自分たちで行いました。丁寧に慎重に行いましたが、およそ半数が枯れてしまいました。そのため追加では種し直して何度も挑戦しました。その甲斐あって必要数は確保できそうです。接ぎ木苗の定植も始まっているため、定植後に枯らさないようにいつも以上に気を遣って管理を行いたいです。



作物

## 新米販売中！！！！

今年も暑い中、収穫作業や乾燥調製を行い、自分たちの手で育てたお米を精米して販売を開始しました。

お客さんから販売しているお米の特徴などを聞かれて、戸惑っている学生もいましたが、販売を通じて、お米の知識も深めていければと思っていますので、温かい目で見守ってください。





## シャインマスカットパフェ爆誕!!!

美合駅近くの dasora coffee さんと協力して新商品の開発を行いました。学生と店主さんとで話し合いを行い、果樹専攻のシャインマスカットを使用したパフェを作っていただくことになりました。シャインマスカットをふんだんに使ったボリュームミーなパフェで、店主さんの細かなこだわりもあり、試食した学生には「凄くおいしい！」と好評でした。



シャインマスカットのパフェは毎週水曜日に限定 10 食程度販売されるので、興味のある方は食べに行ってみてください。パフェ以外にもこだわりのスイーツがたくさんあるみたいなので、ぜひ足を運んでみてください。



## 種雄牛と闘牛を見学しました

9月3日から5日にかけて2年生が県外学習に行き、牛関係の施設として（一社）家畜改良事業団前橋種雄牛センター（群馬県）と、山古志闘牛場（新潟県）を見学しました。

家畜改良事業団では、種雄牛の飼養管理や凍結精液の生産など、普段の専攻実習では学ぶことのできない話を伺うことができました。また、本校でも供用している種雄牛を実際に目にする事ができ、学生も目を輝かせていました。



山古志闘牛場では、1000年の歴史を誇る「牛の角突き」の話を伺うことができました。人々の娯楽として根付いた文化であり、貴重な働き手である牛が傷つかないように引き分けにすることが特徴であることなどの話を伺い、牛と人とのつながりを改めて感じました。



## 県外学習に行ってきました

畜産コース2年生が9月3日から2泊3日の日程で、新潟県・群馬県方面へ県外学習に行ってきました。

視察先の群馬県食肉卸売市場は、1日当たり肉豚3000頭、牛150頭が処理可能で、枝肉カット工場も併設された巨大な施設でした。枝肉をカットする工程はまるでビデオを早回ししているかのようにスピーディで、全く無駄の無い動きの中で瞬く間に肉が切り分けられていました。また、この食肉市場は、早くから食肉の輸出にも取り組んでおり、平成2年のアメリカを皮切りにカナダ、EUなど現在10の国と地域で輸出施設の認定を受け、上州牛などのブランド肉の輸出を行っています。



衛生的な施設や先を見据えた輸出への取組など、学生にとって有意義な視察でした。

※ 各専攻の様子は、農大のInstagram、X(旧ツイッター)で情報発信しています。



## トピックス

## 始業式を開催しました

9月2日(月)、長い夏期休業を終えた学生たちが元気な姿で大講義室に集合し、始業式を迎えることができました。

恒川校長から、2学期に向けて、「進路先が決定していない2年生は積極的に就職活動を行い、進路を決定すること。また、1年生は、この後に予定されている農家派遣実習について、今後の進路選択のための貴重な経験であり、農家とのコミュニケーションを大切にしてお有意義な研修にするように」と講話がありました。

また、令和6年度オープンキャンパスは予定通り実施できましたが、多くの学生が受験を考えている高校生や保護者に農大のPRを積極的にしてくれたことへの感謝の言葉もありました。そしてPRにはSNSなども効果的であり、本校では学生と協力しSNSの発信も行っています。個人情報保護などの法規を遵守しての利用について注意喚起のお話しもありました。

これからいよいよ2学期が始まります。2学期は収穫感謝祭や農大祭、1年生の意見発表会、2年生の卒論発表会など多くの行事が予定されています。充実した学生生活を目指していきましょう。



## 防災訓練を実施しました

防災の日が休日だったため、始業式終了後に農学科の学生と職員を対象に消防防災訓練を実施しました。

大規模地震が発生し、地震発生と同時に、各自がその場で「姿勢を低く」「頭を守り」「じっとする」3つの動きを身に付ける「あいちシェイクアウト訓練」に取り組みました。

先月の南海トラフ地震臨時注意報発令もあり、学生は緊張感を持って訓練に臨むことができていました。



## 農家派遣実習が始まりました

本校では、1年生を対象に先進農家で優れた知識・技術を体験させることを目的として農家派遣実習を実施しています。

今年度は78名の学生が9月10日(火)から10月18日(金)まで39日間の予定で実施することとしており、9月10日(火)に各農業改良普及課を会場として開始式を行いました。

39日間、楽しいこと、大変なこと、辛いこともあるかもしれませんが、一生の糧となる素晴らしい体験をして、農業の魅力を感じ、その一翼を担う人材に育ててもらえることを期待しています。



開始式の様子

## 本校の学生2名が「農業後継者育成奨学金」を授与されました

8月20日(火) J A あいち中央主催の「農業後継者育成奨学金」贈呈式が開催され、授与者7名のうち本校から2名（2年生）が奨学金を授与されました。（うち1名は授与式を欠席）

渥美純一代表理事組合長から奨学生全員に奨学金の目録が贈呈され、各奨学生は就農に向けて「生まれ育った地域農業の発展に貢献していきたい。」と力強い抱負を述べました。

将来の地域の中心的な農業者として活躍されることを期待しています。



## 経営管理研修「パソコン農業簿記入門」を実施しました

8月23日（金）に経営管理研修「パソコン農業簿記入門」を開催し、県内から23名の参加があり、樋田久講師から、農業経営に必要な農業簿記の基礎知識とパソコンを活用した農業簿記ソフトの利用法について講義を受けました。

はじめに、青色申告の概要について説明を受け、その手続きを学んだ後、農業簿記ソフトの概要説明を受け、各自で初期設定の入力を行いました。特に、経営形態の分類では、複数の形があるため、実態に則した入力が求められました。

次に、メインとなる仕訳入力を行いました。示された例題の適用文を入力することで、画面の「借方」「貸方」に勘定科目が自動的に入力されました。はじめは戸惑いもありましたが、出題が進むにつれ、スムーズに入力ができるようになりました。

講師からは、「農業経営は診断が最も重要で、簿記を活用して考察していくことは、経営者として大切である。」とのまとめがあり、研修後のアンケート結果では、「今後はパソコン簿記を活用したい。」との回答もあり、有意義な研修会となりました。



## あいち農業経営塾、始まる

8月28日（水）、あいち農業経営塾の開講式を開催しました。

本年度の受講生は、20歳代から60歳代の22名で、男性18名、女性4名です。

講座内容は、経営・財務・労務・マーケティングなど多岐に渡り、2月までの半年間で、全12回開催していきます。

開講式の後には、第1回講座があり、この塾で経営計画の作成を指導する一般社団法人東海経営支援センターの深谷定弘氏より「これからの農業経営」と題して講義がありました。受講生は熱心に聴講しており、今後の期待が高まります。





## オープンキャンパスを開催しました

6月8日から8月27日の期間に計5回、オープンキャンパスを開催し、344名もの学生及び保護者の方々に御参加いただきました。他県など遠方から来られた方や複数回参加された方も含め、非常にたくさんの方に御来校いただきました。

比較的、天候にも恵まれ、学生の案内による校内キャンパスツアーは全ての回で実施することができ、参加者は熱心に説明を聞いたり質問をするなど、本校にとっても興味を持たれたようでした。

在校生が参加者からの質問に答える交流会では、専攻実習や授業の内容、クラブ活動、就職活動から寮生活やアルバイト先など様々な質問があり、学生自らの経験やアドバイスを踏まえて率直に答えていました。

また、学生が育てた農産物の販売やミニトマトやブドウの試食会、寮の食事体験など盛りだくさんの内容で、本校の雰囲気を感じていただけたようでした。

アンケート調査からは、「学生がいきいきと生活している様子がわかり良かった。」「実際に施設を見て回れたので、イメージがしやすかった。」「学生の実験の経験が生で伺えてよかった。」との評価をいただきました。



## お知らせ

### 令和7年度入学者選抜試験

#### ●一般推薦入学試験

出願期間 9月30日(月)～10月16日(水)

試験日 11月1日(金)

合格発表 11月13日(水)

試験科目 小論文(800字以内)、面接試験

募集人員：定員100名のうち2/3程度

#### ●一般入学一次試験

出願期間 11月12日(火)～11月27日(水)

試験日 12月10日(火)

合格発表 12月19日(木)

試験科目 数学I、小論文(800字以内)、面接試験

募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数



・詳細は、本校ホームページを御覧ください